

保育園留学の1日をピックアップ



▲プールの時間



▲体操の時間

最初は緊張していましたが、すぐにみんなと仲良く楽しく遊んでいました。

★先生コメント



0歳児も預けることができたので、非常に助かりました。 ★保護者コメント



▲音楽の時間



▲給食の時間

保育園留学をしたご家族にお話を聞いてみました



神奈川県横浜市在住 村田さんご家族

Q なぜ志布志市を保育園留学先を選びましたか？

A 日程や条件が希望に合っていたことに加え、奄美で結婚式を挙げた思い出があり、鹿児島本土にも訪れてみたいと思い参加しました。一棟貸しの宿泊施設で家族一緒にゆったりと過ごせることも魅力に感じました。

Q 実際に志布志市で暮らしてみようでしたか？

A 生活に必要なものは一通りそろっており、とても暮らしやすかったです。近くにコワーキングルームもあり、快適で仕事に集中できました。都会では習い事でしかできないことを園で経験させてくれて、この1週間で子どもの成長を感じました。また何より地域や子ども園のみなさんがとても温かく迎えてくださったことが印象に残っています。

Q また志布志市に来る可能性はありますか？

A とても住みやすく、自然の豊かさもあり、子どもの教育にも非常に良いと感じました。年に1回は来て、今回の「保育園留学」を毎年の恒例行事にしたいと思いました。

▼子どもの受け入れ先となった伊崎田こども園



「保育園留学」とは、普段は都市部で生活する子育て世帯が、1、2週間程度の期間、自然豊かな地域に滞在しながら、子どもは現地の保育施設に通う暮らし体験です。本市では、今年度から、株式会社キッツハイイクが運営する「保育園留学」に参画し、今回が初めての受け入れとなりました。

な成長の機会や、地域との交流を深め、今後、「ここで暮らす可能性」を実際に体感していただくことを目的としています。

地域とのつながりを生む

私たちが暮らすこの地域だけでなく、人口減少が全国的に進む中、地域との関わり方には多様化がみられ、観光や移住だけではなく、新しい地域と

▼滞在先となる HOTEL RACCAN

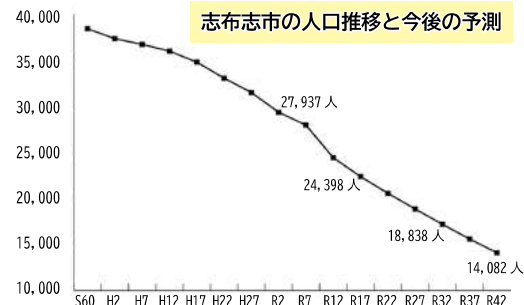


のつながりが求められています。

保育園留学は、そんな新しい関わり方の一つです。本市への留学を申し込んだ世帯は、留学期間中はHOTEL RACCAN 山中氏邸（志布志町）を滞在拠点として、子どもは伊崎田こども園に預け、リモートワークなどで働いています。休暇中は、地域の魅力に触れ、市民とのつながりを深めることで、地域を身近に感じていただけます。都市部の子育て世代と交流することで、市民側にも新たな発見や交流が生まれることとなります。

この取組をきっかけに、何度も本市を訪れたくなる関係を築き、交流人口の拡大につなげていきます。今後も、保育園留学で本市を訪れるご家族が複数予定されています。交流の機会がありましたら、あたたかく声かけをしてみてください。一人一人のおもてなしが、地域の未来をつくる、大きなエネルギーに変わります。

志布志市の人口推移と今後の予測



志布志市の人口推移を見てみると…

本市の人口は、平成17年に35,000人を割り込み、令和8年7月末で、人口は27,838人となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を用いた推計によると、本市の総人口は、令和12年には約25,000人を、令和27年には約20,000人をそれぞれ割り込み、令和42年には14,082人まで減少することが予測されています。

※ 第3期志布志市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより